



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月13日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 太平製作所  
コード番号 6342 URL <http://www.taihei-ss.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神谷 慎二  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 桂山 哲夫

TEL 0568-73-6411

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	4,719	58.8	420	69.9	422	66.8	257	83.0
27年3月期第2四半期	2,971	65.9	247	—	253	—	140	—

(注)包括利益 28年3月期第2四半期 249百万円 (81.2%) 27年3月期第2四半期 137百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	19.21	—
27年3月期第2四半期	10.49	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	7,363	—	3,443	—	46.8	—	256.54	—
27年3月期	10,821	—	3,275	—	30.3	—	243.98	—

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 3,443百万円 27年3月期 3,275百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	6,900	29.1	300	27.4	310	27.4	185	43.3	13.78	—

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	15,000,000 株	27年3月期	15,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	1,575,788 株	27年3月期	1,575,788 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	13,424,212 株	27年3月期2Q	13,424,470 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策により、引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。中国経済の下振れリスクが顕在化するなど、世界経済全体の景気減速懸念が高まり、依然として先行き不透明な状況であります。

当社を取り巻く事業環境は、新設住宅着工戸数が前年比増で推移し回復の兆しは見受けられるものの、力強さを欠く状況であります。また、木材業界等の市場環境は依然として厳しい状況が続いており、設備投資に対する見方は慎重なものとなっております。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の当社グループは、営業を中心とした販売活動と機械の開発活動に注力した結果、売上高は、4,719百万円（前年同四半期比58.8%増）となりました。利益につきましては、売上増加が寄与し営業利益は420百万円（前年同四半期比69.9%増）、経常利益は422百万円（前年同四半期比66.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は257百万円（前年同四半期比83.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①合板機械事業

合板機械事業は、積極的な営業活動と機械の改良改善に注力した結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,247百万円（前年同四半期比69.8%増）、営業利益は337百万円（前年同四半期比46.3%増）となりました。

## ②木工機械事業

木工機械事業は、営業活動による売上増加に努めた結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は924百万円（前年同四半期比66.1%増）、営業利益は147百万円（181.4%増）となりました。

## ③住宅建材事業

住宅建材事業は、営業エリアを拡大するなど、積極的な営業活動に注力した結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は549百万円（前年同四半期比9.4%増）となりました。営業利益につきましては、受注競争が熾烈さを増し受注単価が低下したことに加え、円安による輸入部材価格の上昇もあり、6百万円（前年同四半期比68.7%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて40.1%減少し、5,263百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,312百万円減少、受取手形及び売掛金が343百万円減少、有価証券が100百万円減少、仕掛品が1,710百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.4%増加し、2,099百万円となりました。これは主に、有形固定資産のその他（純額）が84百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて32.0%減少し、7,363百万円となりました。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて51.3%減少し、3,423百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,065百万円減少、前受金が2,748百万円減少、未払法人税等が93百万円増加、流動負債のその他が171百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3.3%減少し、495百万円となりました。これは主に、長期借入金16百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて48.1%減少し、3,919百万円となりました。

## (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて5.1%増加し、3,443百万円となりました。これは主に、利益剰余金が177百万円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前期末残高と比べ1,328百万円減少し、2,816百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は1,218百万円(前年同四半期は1,157百万円の獲得)となりました。これは主に、棚卸資産の減少による資金の増加を、仕入債務及び前受金の減少による資金の減少が上回ったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、獲得した資金は60百万円(前年同四半期は67百万円の獲得)となりました。これは主に、有価証券の償還による資金の増加が、有形固定資産の取得による資金の減少を上回ったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は170百万円(前年同四半期は139百万円の使用)となりました。これは主に、長期借入金の返済及び配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は、住宅着工戸数も少しずつ上向きとなりつつありますが、本格的な回復には程遠く、業界内での設備投資は慎重な姿勢が続く事が予想されます。

このような状況の中、従来とは違う木材の活用や、新たな機械の開発に取り組むとともに、営業を中心とした販売活動の促進や現状の機械の改良改善に努め、受注確保から売上計上まで安定して行えるよう日々努力しておりますが、新たな機械の開発には時間を要する事、当社の主力合板機械事業での大型機械は全て受注生産であることから、受注から売上に至るまでには長期間の納期が必要であることや、得意先の都合で機械が納入できないといった要因等もあり、現状困難な状況であります。

当社グループは、このようリスクを出来るだけ少なくするように努めるとともに、顧客ニーズに対応した機械の開発・改良に取り組み、得意先の設備が安全に稼働出来るようなバックアップ体制の構築に努めるなどグループ一丸となって経営の安定化に取り組んでまいり所存であります。

連結業績予想につきましては、平成27年5月14日に開示しました業績予想を修正しております。

具体的な内容につきましては、平成27年11月6日に開示しております「平成28年3月期 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、連結業績予想等につきましては、当社グループが現時点において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後の様々な要因により、異なる結果となる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以降実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項（4）、連結会計基準第44-5項（4）及び事業分離等会計基準第57-4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,804,466	3,491,938
受取手形及び売掛金	1,150,222	807,156
有価証券	100,000	—
仕掛品	2,376,443	665,843
原材料及び貯蔵品	193,926	192,678
その他	167,617	119,775
貸倒引当金	△1,610	△13,936
流動資産合計	8,791,066	5,263,455
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	641,985	635,687
土地	689,746	689,746
その他(純額)	203,288	287,530
有形固定資産合計	1,535,020	1,612,965
無形固定資産	64,245	60,926
投資その他の資産	431,518	426,063
固定資産合計	2,030,784	2,099,955
資産合計	10,821,850	7,363,410
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,247,259	1,181,661
短期借入金	750,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	133,400	83,400
未払法人税等	89,000	182,199
賞与引当金	91,191	95,610
役員賞与引当金	31,200	15,600
前受金	3,490,960	742,924
その他	201,138	372,427
流動負債合計	7,034,148	3,423,823
固定負債		
長期借入金	33,200	16,500
繰延税金負債	114,628	102,582
役員退職慰労引当金	12,100	12,675
退職給付に係る負債	168,846	161,747
その他	183,582	202,136
固定負債合計	512,357	495,641
負債合計	7,546,506	3,919,465

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	77,201	77,201
利益剰余金	2,619,953	2,797,302
自己株式	△205,701	△205,701
株主資本合計	3,241,453	3,418,802
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,890	25,142
その他の包括利益累計額合計	33,890	25,142
純資産合計	3,275,344	3,443,945
負債純資産合計	10,821,850	7,363,410



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	2,971,673	4,719,733
売上原価	2,358,795	3,870,022
売上総利益	612,878	849,711
販売費及び一般管理費	365,217	428,896
営業利益	247,661	420,815
営業外収益		
受取利息	516	482
受取配当金	1,995	2,416
鉄屑売却収入	1,016	1,374
保険解約返戻金	3,909	77
その他	5,486	2,607
営業外収益合計	12,924	6,958
営業外費用		
支払利息	6,619	5,307
その他	767	37
営業外費用合計	7,387	5,345
経常利益	253,198	422,428
特別利益		
固定資産売却益	—	349
特別利益合計	—	349
特別損失		
固定資産除売却損	2,174	—
特別損失合計	2,174	—
税金等調整前四半期純利益	251,023	422,778
法人税、住民税及び事業税	102,751	175,316
過年度法人税等戻入額	△4,469	—
法人税等調整額	11,827	△10,432
法人税等合計	110,109	164,883
四半期純利益	140,914	257,894
親会社株主に帰属する四半期純利益	140,914	257,894

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	140,914	257,894
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,387	△8,747
その他の包括利益合計	△3,387	△8,747
四半期包括利益	137,526	249,146
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	137,526	249,146

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	251,023	422,778
減価償却費	53,973	63,117
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,907	12,326
賞与引当金の増減額(△は減少)	27,876	4,419
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,000	△15,600
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△4,322	△7,099
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,085	575
受取利息及び受取配当金	△2,511	△2,899
支払利息	6,619	5,307
有形固定資産除売却損益(△は益)	2,174	△349
為替差損益(△は益)	△187	—
売上債権の増減額(△は増加)	△495,148	343,065
たな卸資産の増減額(△は増加)	523	1,711,847
仕入債務の増減額(△は減少)	403,106	△1,065,597
前受金の増減額(△は減少)	886,103	△2,748,035
その他	54,562	143,514
小計	1,173,785	△1,132,627
利息及び配当金の受取額	2,511	2,899
利息の支払額	△6,618	△5,303
法人税等の支払額	△12,385	△83,562
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,157,293	△1,218,594
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△18,001	△16,002
定期預金の払戻による収入	100,000	—
有価証券の償還による収入	—	100,000
有形固定資産の取得による支出	△18,901	△23,837
有形固定資産の売却による収入	—	349
投資有価証券の取得による支出	△227	△230
投資有価証券の償還による収入	4,580	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	67,450	60,279
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△66,700	△66,700
配当金の支払額	△53,739	△79,841
リース債務の返済による支出	△18,739	△23,673
財務活動によるキャッシュ・フロー	△139,178	△170,215
現金及び現金同等物に係る換算差額	187	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,085,752	△1,328,530
現金及び現金同等物の期首残高	1,700,222	4,145,461
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,785,975	2,816,930

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	1,912,532	556,515	502,626	2,971,673
セグメント間の内部売上高又は振替高	112	—	—	112
計	1,912,644	556,515	502,626	2,971,786
セグメント利益	231,026	52,252	20,065	303,344

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	303,344
全社費用(注)	△55,683
四半期連結損益計算書の営業利益	247,661

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	3,247,410	924,167	548,155	4,719,733
セグメント間の内部売上高又は振替高	20	—	1,739	1,759
計	3,247,430	924,167	549,895	4,721,493
セグメント利益	337,977	147,032	6,272	491,281

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	491,281
全社費用(注)	△70,466
四半期連結損益計算書の営業利益	420,815

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。